

第1回

短期合格力完成テスト

(神奈川県公立版 全5回)

国語

国語

注意事項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は問五まであり、1ページから14ページに印刷されています。
- 3 答えは、解答用紙の決められた欄らんに、はつきり書き入れなさい。
- 4 解答用紙にマス目(例：)がある場合は、句読点などもそれぞれ一字と数え、必ず一マスに一字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマス目には、文字と句読点などを一緒に置かず、句読点などは次の行の最初のマス目に書き入れなさい。
- 5 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。

所要時間50分

問一 次の問いに答えなさい。

(ア) 次の各文中の——線をつけた漢字の読み方を、ひらがなを使って現代かなづかいで書きなさい。

- 1 疲労が累積する。
- 2 わずか一点差で惜敗した。
- 3 社会生活の秩序を守る。
- 4 観光資源は国の発展を促す。

(イ) 次の各文中の——線をつけたカタカナを、漢字に直しなさい。(楷書で大きく、丁寧に書くこと。)

- 1 書類をフクシヤする。
- 2 倉庫に食料をチヨソウする。
- 3 利益をキントウに配分する。
- 4 標本から不純物をノゾク。

(ウ) 次の——の文中の——線をつけた「と」と同じはたらきをする「と」を含む文を、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

将来について訪ねてきた友人と真剣に話した。

- 1 優勝を目指してがんばろうと部長に言われて、サッカーの練習に励んだ。
- 2 母と買い物に行き、前から欲しかったかばんを買ってもらった。
- 3 高校生の姉は、小さい時からメロンをいちごが大好きだ。
- 4 夕方には雨が降るといって天気予報通り、家に着くと雨が降り出した。

(エ) 次の俳句を説明したものとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

のほりゆく草ほそりゆく天道虫

中村 草田男

- 1 近い距離感の中で、天道虫が見せる昆虫らしい動きをとらえている。その天道虫の、ありふれた自然の中での動きが、目に映るまま描かれている。
- 2 広々とした大自然の中で、小さく見える天道虫の様子をとらえている。その天道虫のゆつたりとした動きに感激した様子が描かれている。
- 3 生い茂っている草の中を、天道虫が力強く動き回っている様子をとらえている。その力強さに励まされている作者が描かれている。
- 4 草がぐんぐん伸びる様子と天道虫の成長を比較している。雑草が力強く伸びる一方で、弱っていく、はかない天道虫の一生が描かれている。

問二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

今は昔、京に男ありけり。その妻、(出産して)産にしてもつばら肉食(しじま)を願ひけり。男、心(思い悩んで)に思ひあつかひて、いまだ明けざるほどに、自ら弓を取りて家を出でぬ。ア「池に行きて池にゐたらむ鳥を射て、この妻に食はしめむ」と思ふゆゑなり。池の辺りに寄りて草に隠れてうかがひゐるに、鴨(かも)の雄雌(おどりめどり)、人ありとも知らずして近く寄り来たり。イ男これを射るに、雄を射つ。極めてうれしく思ひて、池に下りて鳥を取りて、いそぎて家に帰るに、暮れぬれば、棹(さお)のあるに打ちかけて置きて臥(ふ)しぬ。男、夜半ばかりに聞けば、この棹にかけたる鳥ふたふたとふためく。「この鳥の生き返りたるか」と思ひて、起きて火を灯(と)して行きつゝ見れば、鴨の雄は棹にかかりてあり。傍(かたはら)らに出でたる鴨の雌あり。「雄の射殺されぬるを見て、夫を恋(こ)ひて、取りて来たる後(しり)につきて、ここに来にけるなりけり」と思ふに、男、あはれに悲しきこと限りなし。エつひに夜明けて後も、この鳥の肉を食(た)ふことなかりけり。

男、貴(たふと)き山寺へ行き、もとどりを切りて法師(まほう)となりけり。(束ねた巻)

(「今昔物語集」から。一部表記を改めたところがある。)

(ア) ~~~~~線ア〜エの中から、他と主語が異なっているものを一つ選び、その記号を書きなさい。

(イ) ———線1「あはれに悲しきこと限りなし。」とあるが、その意味として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 とてもみじめなものに感じた。
- 2 しみじみと深い感動を味わった。
- 3 この上なくかわいそうに思った。
- 4 悲しさをこえていとしさを覚えた。

(ウ) ———線2「法師となりけり。」とあるが、「男」が「法師」になった理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 出産したことを理由にわがままなことばかり言う妻とは、もう一緒に暮らすことなどできないと悟ったから。
- 2 雌の鴨のとった行動がとても不気味なものに思えて、夫を奪った仕返しをされるに違いないと怖くなったから。
- 3 自分が責任をとって法師になりひたすら拝み続けることで、雄の鴨は必ず生き返るものと信じていたから。
- 4 雄の鴨や雌の鴨に対して自分がしてしまったことを深く反省し、法師になってつぐなおうと決心したから。

(エ) 本文の内容と一致するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 手に入れた鴨を家の棹にかけておいたら、もう一羽の鴨が現れたので、男は偶然にも二羽の鴨を同時に手に入れることができた。
- 2 男が夜中に聞いた音は、棹にかけておいた雄の鴨が騒いで出しているものではなく、雌の鴨が羽をばたつかせている音だった。
- 3 どうしても鴨の肉を食べたいと言う妻の願いをかなえてやるために、男は、鴨を手に入れるためのわなを草の中に仕掛けた。
- 4 自分が射止めて棹にかけた鴨の姿があまりにも痛々しいので、男はどうしても食べる気になれなかったが、妻は喜んで食べた。

Sample

問三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

— ーにいさん、これそうだろう。

兄はそばにいる弟のほうをふり向いた。そして、弟の差しだしたキノコを見た。しかし、すぐいった。

— それはちがうよ。こういうんでなくつちや。

— 彼は、自分で今とつたばかりのハツタケを、弟に示した。

— これ、だめ！

弟は残り惜しそうに、とつたキノコをながめていた。

— あ、カサの下にぎざぎざのないのはだめだよ、ヘビダケってね、毒のキノコなんだよ。

彼はまだ十一の少年だけれど、弟に対する時は、さすがに兄らしい落ちつきと、いたわりとがあった。

弟が少ししよげているのを見ると、彼は気の毒になった。それでポール・パンのような色をした、ハツタケのあたまを見つけると、すぐに弟に教えてやった。

— 真ちゃん、そこにあるよ。

弟はそれを聞くと、元気づいてそこらを見まわした。しかし、しら茶けた落ち葉のほかには、なんにも目にはいるものはなかった。兄はかさねていった。

— そら、そこにさ。真ちゃんの足もとのところに。

— どこに。

— これさ。

と、兄は弟のそばに寄ってきて指さした。

— 葉っぱでわからないんだもの。これ？

弟は落ち葉を払いのけていった。

— あ。

— 毒ダケじゃない？

— ううん、これがほんとのハツタケだよ。

— ぼく、とつてもいい。

— いいとも。

弟はかんでハツタケを抜いた。しかし、ぶ気味な虫でもつかんだ時のように、あわててキノコを離してしまった。

— なんだって捨てつちまうの、真ちゃん。

兄はなじるようにいった。

— だって、こわいんだもの。

— 何がさ？

弟はうつむいたまま黙っていた。

兄のくちびるには、微笑が浮かんできた。

— ああ、キノコの色が変わったんで、驚いたんだね。なあに、そりゃ、なんでもないんだよ。ハツタケは、さわるとすぐ色が変わるんだよ。

— じゃ、大丈夫？

— 大丈夫さ。

弟は、やっと安心したというふうであった。
——もったいない。こんなかへ入れときよ。

兄はザルのかわりに、地上にうら返しにしておいてある、自分の帽子をさした。弟は拾ってそのなかへ入れた。それから、ついでに、兄がとった、帽子のなかのキノコの数をかぞえてみた。

そのあいだに、兄は落ち葉をかきつかせながら、あっちこちハツタケをあさっていた。兄が目さきよるきよるさせているようすは、ちやうど、朝おばあさんが背なかを丸くして、ふとんの上でノミを追いかけるかっこうとよく似ていた。弟はそれを見ると、わけもなく、うれしい気もちになってきた。そして、自分もまたすぐに背なかと目だまをまあるくして、タケ狩りをやりだした。もちろん、弟は兄の四半分もとれなかったけれど、マツ林のなかをはねまわって歩くことは、なんととっても、彼には愉快でたまらなかつた。

突然どしいんという響きがあった。兄はふいと目をあげると、^(注)一間ばかりさきの、少し傾斜になっている地面の上を、弟はころころとこるがっていた。おそろく、木の根か何かにつまずいたのだろう。はずみをくらって、ころがりだしたものらしい。それを見ると、兄は思わずふきだしてしまった。弟が目の前で倒れたのだから、すぐにも駆^かけて行って、起こしてやるのが当然のだが、その瞬間には、「弟」とか、「起す」とかいう考えは、まるでなかつた。それどころか、手を打って、はやし立てたいような気もちでいっばいだつた。しかし、²次ぎの瞬間には、もう弟のそばにいた。そして、木の根かたでとまった、弟のからだを引き起こした。

その時の彼は、いたわり深い兄であった。彼は心配にふるえながら、弟を介抱した。ところが弟は起きあがると、兄の顔を見るなり、にやりと笑つた。すると兄の顔もまた、ひとりでのほほえんでしまった。泣きだすと思つた弟が笑つたものだから、兄は急に気が軽くなつた。

弟は起きあがるとすぐに、笑えたくらいだから、³どこもけがはしていなかった。しかし、彼の笑いは妙ちきりんな笑いだつた。もちろん、しくじりをやつたあとの、てれかくし笑いに相違ないのだが、それにしても、どこか変なところがあつた。よく見ると、それは弟の右のほつぺたに、したたか、どろがついていたからだつた。おそろく、倒れた時にくつ²ついたものだろう。兄はそれを知ると、すぐに指でどろを落としてやつた。けれども、よく落ちないので、筒³そでのなかに手を引²つこめて、それでほつぺたをこすつてやつた。ところが、それでも、すつかりきれいなならないものだから、今度は彼は、筒そでのさきにつばをくつつけて、丁寧³にふいてやつた。そのあいだ、弟はおとなしくして、兄のやつてくれるままになつていた。

それから、ふたりはまたタケ狩りをやりだした。

しばらくしてから、兄はハツタケでいっばいになつている帽子を取りあげて、得意そうにいつた。

——真ちゃん、こんなにとつたよ。

その時、突然うしろで大きな声があった。

——やい、それを持つてくことはならねえぞ。

ふたりはびっくりして、その声のほうを見た。うしろに、山ばんのじいさんが立つていた。彼は待ち構えていたといわぬばかりに、ふり向いた少年の手から、キノコのはいつている帽子を取りあげた。そして、いきなり兄の横つづらをつ、なぐりつけた。

——ふてえ野郎だ。

しかし、年うえの少年は泣かなかつた。ただ顔をまっかにして、首をうなだれただけだつた。ところ

が弟のほうは、自分がなぐられたのではないけれど、急にわあつと泣きだしてしまった。

山ばんは、少年らが無断でハツタケ山を荒らしたことを、なお、くどくどとおこった。そして、

——またはいつてくると、承知しねえぞ。

そういつて、ふたたりをマツ林のそとに追い立てた。そこまできると、じいさんは帽子のなかのハツタケを、自分のザルのなかにかけて、からになった入れ物を、少年にたたきつけたなり行ってしまった。

弟はなおしくしく泣いていたが、ここんで、芝しばの上に落ちて⁴いる兄の帽子を拾った。そして、それを兄に手わたそうとした。すると兄は、帽子を受け取らずに、いきなり、弟の横つつらをなぐりつけた。じいさんになぐられたので、そのとはつちりが、弟に飛んで行つたのだろうか。いや、いや。こうした場あい、年したの者なんぞから親切にされると、何か知らないが、兄には一層たまらなかつたのである。弟は不意になぐられたので、前よりもはげしく泣きだした。と、その声につれて、今まで泣かずにいた兄も、弟をなぐつておきながら、またわあつと泣きだしてしまった。

それから、ふたりは長いこと泣いていた。はじめは、声を立てて泣いていたけれど、しまいには、ただ機械的に涙が出るだけだった。そして、あつたかい水たまが、ひっきりなしに流れているうちに、ふたりのほつべたは、何か柔かいものになでられているような、なんともいえない快感を覚えてきた。

その時、弟はちいさい声でいった。

——にいさん、勘弁かんべんしてね。

——うん。

兄はただ「うん」といっただけだった。声はうるんでいるが、明あかるい響きを持っていた。

やがて兄は、どろだらけになっている帽子を拾つて、ひざの上で五、六度たたいた。彼はそれをかぶらないで、かた手に持ったまま、べつの手で弟の手をとった。そして、うちのほうへ歩きだした。しかし、ふたりはみちみち思ひだしたように、なお、泣きじやくつていた。

(山本 有ゆう三ぞう 「兄弟」から。「部表記を改めたところがある。)

(注) ボール・パンパン 二ここでは、球形をしたパンのこと。

一間 二長さの単位で約一・八メートル。

筒そで 二和服で、そでの下の袋のような部分がない筒形のそで。

(ア) 線部「残り惜しそくに」とあるが、本文中における意味として最も適するものを次の中から一

つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 取り残したことが、残念であるように。
- 2 納得がいかず、苛いら立っているように。
- 3 あきらめきれず、名残惜しそくに。
- 4 取ったことを後悔しているように。

(イ) —線1「大丈夫さ。」とあるが、ここでの「兄」の気持ちをふまえて、この部分を朗読するとき、どのように読むのがよいか。最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1 さわると色が変わるキノコがあることを知らずに、ただこわがっている弟の不安を取り払ってやろうという気持ちを込めて読む。

2 とうとうとしたキノコの色が変わったというだけで、ひどくあわてている弟をからかってみたくてという気持ちを込めて読む。

3 大変な苦勞をしてやっと見つけ出したキノコなのに、毒があるかどうかさえわからない弟はかわいそうだという気持ちを込めて読む。

4 せっかく毒のないキノコの見分け方を教えてやったのに、いつまでも自分に頼ってくる弟は情けないという気持ちを込めて読む。

(ウ) —線2「兄の顔もまた、ひとりではほえんでしまった。」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1 勢いよく斜面をころがっていく弟の姿が、こっけいだけだけでなく、どろだらけになっている弟の顔もおもしろかったから。

2 斜面をころがっていった弟のことが心配だったが、駆け寄ってみると弟が笑顔を見せたので、無事だとわかってほっとしたから。

3 弟が斜面をころがっていくという突然の出来事に驚いたが、いつものように、いたわり深い兄としてふるまえたことに満足したから。

4 斜面をころがって倒れているところを介抱してやったことで、弟がすっかり元気を取り戻してくれたようで、安心できたから。

(エ) —線3「弟はおとなしくして、兄のやってくれるままになっていた。」とあるが、そのときの「弟」の様子を説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1 ころんだときに顔についたどろをとろうとしても、なかなかとれないことにいらいらしている兄を目の前にして、おびえている。

2 ころんだときについたどろを落とすだけのことなのに、わざわざつばまでつけて手間取っている兄の要領の悪さに、あきれている。

3 ころんで倒れた自分をすぐに助けに来てくれたり、顔についたどろを落としてくれたりする兄を頼もしく思い、安心してている。

4 ころびはしたがけがはしていないのですぐにタケ狩りを続けたいと思っているのに、ゆっくり介抱する兄に、いらだっている。

(オ) —線4「いきなり、弟の横つらをなぐりつけた。」とあるが、「兄」がそのようにした理由を次の①、②の条件を満たし、三十字以上四十字以内の一文で書きなさい。

① 「親切」「立場」という二つの語句を、どちらも用いること。

② 文末は□(句点)で終わること。これも字数に含めること。

- (カ) この文章について述べたものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。
- 1 思いやりのある兄でいようと努める主人公が、逆境にあっても協力しようとしないうつを見て、弟への日ごろの不満をおさえきれなくなる様子を、直接的な心情表現を多用しながら描き出している。
 - 2 弟思いの主人公が、弟には強くなつてほしいという一心からあえて厳しく接して自立させようと苦心する様子を、テンポよく場面を展開させる中で、比喩表現を用いて印象的に描き出している。
 - 3 弟をかわいがってきた主人公が、初めての自然体験に喜びを抑えきれない弟を見て、兄として弟を思う気持ちを深めていく様子を、短い会話を多用しつつ主人公自身の視点から描き出している。
 - 4 弟をいたわってきた主人公が、思いがけない出来事の中で感情を抑えきれず弟に乱暴にふるまいつつも、いつもの兄らしさを取り戻していく様子を、第三者の視点から平易な文体で描き出している。

Sample

問四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

クリニックで若い患者さんが最近よく口にする**ことば**に、「ゆつくりしたいんです」というのがある。大学で学生たちに「**どこ**というところに就職したい？」ときけば、「ラクできる**ところ**」ということばもよく返ってくる。

いずれも、企業戦士や子育て中の主婦から見れば、すでに十分、ゆつくりしているしラクもしているような若者たちである。「仕事がつらい」と不眠やイライラを訴えて受診し、投薬で症状はかなり改善していたにもかかわらず、結局は退職してしまった若い男性が不満げな顔つきで言っていたことがある。

「ゆつくりしたくて仕事をやめたのに、家にいればいたで、親が次の仕事はどうするんだ、などとうるさく言う。ちつともゆつくりできないんですよ」

それでも、満員電車で出勤し、毎日のように遅くまで残業があった頃**に**比べれば、物理的にはかなり「ゆつくりしている」はずだ。そうきくと、「自分がイメージしていたゆつくりはこんなじゃない」と答えが返ってきた。「学生時代に沖縄に旅行に行ったことがあったんですが、気候はいいし、地元の人**は**みんなやさしいし、誰も時間**に**追われず**に**のんびり暮らしてました。僕の言うゆつくりってあんな感じですよ」

つまり、出勤時間に縛られずに朝遅くまで寝ていられたらいい、というわけではなく、そういう生活を送っていることを含めて、自分が周りの人たちにやさしく受け入れてもらっている状態、それが彼らの言うゆつくりなのだ。のんびり、ダラダラしていることを親などに咎**め**られたのでは、ただでさえ小さくなっている自己肯定の感情がますます目減りする。それでも「オレはゆつくりしたいんだ」と宣言するだけの自信、強さがあるくらいなら、会社などやめはしない……。そういう気持ちなのだろう。

「ラク」というのも同じだ。「どうしてラクな会社に勤めたいの？」ときくと、多くの学生は「つらい仕事なんてバカバカしいから」ではなくて、「たいへんな仕事なんて自分には無理だから」と言う。最近の大学では、「キャリア講義」などと称して社会の第一線で働く人たちを招いて講演をしてもらうのが流行っているが、毎日、終電で帰るシステムエンジニアや土、日返上の金融マンなどの話を聞いて、彼らは素直に「すごいなあ」と感心している。A、「僕もああいうふうに活躍したい！」と仕事選びのモチベーションにまでつながることはまれで、「あんな仕事は自分にはできるわけではない。もつとラクな会社でなければ」ということになってしまうのだ。あるとき、なかなか就職活動を始めない学生に、「あなたは本を読むのが大好きでしょう。出版関係の仕事なんかは考えないの？」と尋ねたところ、「三年のときに編集者が講演に来てくれたことがありましたよね。あの人の猛烈な働きぶりを聞いて、ああ、自分には絶対、こんな仕事は無理だ、とわかったんです」という答えが返ってきて、**がっかり**したことがあった。就労意欲を高めるためのキャリア講義が、逆に「絶対ムリだ」と負の確信を強める結果になってしまったのである。

ゆつくりしたい、ラクしたい、と訴える若者たちは、いくら物理的には自由な生活を送っているように見えても、心理的にはいつも追い立てられ、自信を失い、少しも**寛い**でないの**だろう**。「たればんだ」「リラクマ」など周期的にヒットする脱力系のキャラクターも、必ず「そのままいいんだよ」というメッセージとともに描かれている。若者は、おだやかでちよっぴりだらし**ない**、これらのキャラクターに自分を重ね合わせながら、「なんとなくパリッとできないキミと僕だけ**ど**、これでいいじゃないか」と肯定してもらったような気になる**だろう**。B、「ゆつくりしたい」という若者が望んでいるのは、「それでいいんだ」と誰かから全面的に自分の存在を承認し、肯定してもら**う**ことなのであ**らう**。

しかし本来、自己肯定感とは他人に与えてもらうものではなくて、自分自身で手に入れるべきものだ。場合によっては、他人が「ダメだ」ということであっても、自分が信じているなら実行するということさえあるだろう。ところが、今の若者たちはそこまでして自分の思いを貫きたいとは思わない。たとえば、「こうしたいな」「あそこに行ってみたいな」という希望があったとしても、必ず「いいじゃない、やってみなよ」「キミなら絶対できるよ」といったあふれんばかりの他者からの保証や承認がなければ、一步を踏み出せない。それがないなら、夢や希望も自分で取り下げってしまったほうがマシ、と考える若者も多い。

他者から自分を認められた気になれず、自分でも自己を肯定できないまま、「さあ、何がしたいんだ？」と選択を迫られる若者は、気の毒といえれば気の毒だ。彼らがそういった状況や心境を適切に言語化することもできないまま、「とりあえずゆっくりしたい」などと言ってしまうのも、無理はないかもしれない。とはいえ、「ゆっくりしたい」「ラクしたい」と訴える自信なき若者に、「キミが本当に望んでいるのは、ゆっくりすることではなくて自分が肯定され、必要とされることなんだよね？」などといきなり話しかけても、理解はしてもらえない。とりあえずは、脱力系のキャラクターなり沖縄のようなリゾート地なりで、「ゆっくりできた」という安堵感を体験することも必要だろう。しかし、問題はそれからだ。「ああ、環境や他人に受け入れられるってこういうことなんだ」と体得した彼らが、そこから歩き出すための方法も手段も知らないために、結局は「沖縄でゆっくり↓地元であせり↓沖縄でゆっくり…」といった際限のないループをたどりながら、だんだんに「生きるエネルギー」が目減りしていつてしまうのである。「ゆっくりしたい」と訴える若者に、「もう十分にゆっくりしてんじゃないか」と怒鳴りつけても、何の解決にもならない。ゆっくり、ということには彼らが込めている思いを汲み取り、取りあえずは彼らを受け入れ、ゆっくりさせてやらなければならぬ。ただ、若者たちも「ちよつとゆっくりできたな」と思ったら、そこから踏ん張って立ち上がり、ゆっくりはできない社会にも飛び込む決意や意欲を持つ必要があるだろう。いつまでもまわりからおだてられ、けしかけられないと何ごとでもできないようでは、たとえそれがうまくいってもいつか必ず、「これは自分で選んだ道ではない。まわりに強制されたのだ」という不満がわいてくる。

とはいえ、これまで日本人の多くはゆっくりすること、ラクすることを罪悪だと思ひ、あまりにそれとはかけ離れた生活を送ってきた。わが子が「ゆっくりしたいよ」と言ったら、いいチャンスと思つて父親も「オレも」とゆっくりすればいいと思うのだが、「息子がニートだからオレがまだまだがんばらなければ」と奮起してしまう親が多いのは因果な話だ。

(香山^{かやま} リカ 「いまどきの『常識』」から。一部表記を改めたところがある。)

(注) クリニック〓診療所。ここでは精神科医である筆者の診療所を指す。

キャリア〓専門技能を要する職業についていること。

システムエンジニア〓コンピューターを用いた情報処理の仕組みの開発・設計・運用を行う技術者。

術者。

モチベーション〓動機づけ。

キャラクター〓漫画などの登場人物。

リゾート地〓行楽地、保養地。

安堵感〓心配事がなくなつて安心すること。

ループ〓くり返される一連の事柄。

ニート〓教育を受けておらず、労働や職業訓練もしていない若者を指す造語。

(ア) 本文中の **A**・**B** に入れる語の組み合わせとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 A だから B しかし 2 A しかし B つまり
3 A そして B たとえば 4 A そこで B あるいは

(イ) 線1「自分が周りの人たちにやさしく受け入れてもらっている状態」とあるが、それを説明したものと最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1 時間というものに管理されることもなく、自分の思うように過ごしていることを周囲から承認されている状態。

2 自分の身勝手な行動に対して誰からも干渉を受けず、気の向くままに生活することを周囲から許容されている状態。

3 自由にできる時間が少ない中でも生活の仕方は強要されることがなく、自分の意志が周囲から尊重されている状態。

4 つらいことは意図的に避けようとする態度であっても責められず、自分の価値観が周囲から受容されている状態。

(ウ) 線2「がっかりしたことがあった。」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1 物理的に豊かな生活をしている若者に対して、精神的にも豊かになってほしいと思つて実施している社会人の講義が、若者に拒否されてしまったから。

2 就職活動を始めないことが生み出す不利益を、若者にきちんと理解してもらいたいと思つて提供している企画が、若者の反感を買つてしまったから。

3 仕事への意欲を強く持つてもらおうと思つて、若者に働きかけている職業選びへの提案が、若者が興味を抱く分野とは全く異なる職業だったから。

4 若者が、仕事をするを前向きに考えるきっかけにしてほしいと思つて行っている活動が、仕事に対する若者の姿勢を消極的にしてしまったから。

(エ) 線3「今の若者たちはそこまでして自分の思いを貫きたいとは思わない。」とあるが、それに対する筆者の考えはどのようなものか。それを説明した次の文章中の空欄に入れる語句として最も適するものを、線3より前の本文中から、**I**は四字で、**II**は九字でそれぞれ抜き出し、そのまま書きなさい。

「ゆつくりしたい」と望んでいる今の若者たちは、たとえば、猛烈に働く人を見ても、自分には絶対にできないという **I** を強く持つてしまう。したがつて、彼らが自分の思いを貫くためには、他者から自分自身の存在を **II** が不可欠である。

(オ) 線4 「ゆっくりしたい」「ラクしたい」と訴える自信なき若者」とあるが、そのような「若者」に対して、筆者はどうすべきだと考えているか。次の①～②の条件を満たし、全体で四十字以上五十字以内の一文で書きなさい。

- | |
|---|
| ① 文末は「持っべきだ。」で終わること。これらも全体の字数に入れること。 |
| ② 「環境や他人」「社会」「決意や意欲」という三つの語句を、すべて用いること。 |

(カ) 線5 「だんだんに『生きるエネルギー』が目減りしていってしまう」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 自分が希望したとおりのことが実現できても、認めてくれる人がなく自信を持ってないから。
- 2 ひとつのことをなすとげたとしても、自分の意志ではなく他者からの強制でしたことだから。
- 3 自分が望むような状況を体験できても、次にどうすべきかということがわからないから。
- 4 ゆっくりしたいという自分の心境を言葉でうまく表現できないため、他者に伝わらないから。

(キ) 国語の授業の中で、生徒たちがいくつかのグループをつくり、本文を読んだうえでその内容について話し合った。次の1～4は、あるグループでそのときに出された意見の一部である。筆者が本文中で述べている内容と合っていないものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 「自分を認めてくれる人がまわりにいないと、せっかく抱いている夢があったとしても、その夢に向かって具体的な行動を起こせないというのは、今の若者の特徴だと言えるんだね。」
- 2 「ゆっくりしたい、ラクしたいと思ってる若者が、人間以外のキャラクターに気持ちを動かされるのは、自分との共通点を感じることで自分が承認されているように思うからなんだね。」
- 3 「自己肯定の感情をなかなか持てない若者であっても、自分が望んでいることを言語化し、実行してみようという気持ちを持つことによって、夢や希望をかなえることはできるんだね。」
- 4 「若者がゆっくりしたい、ラクしたいと訴える理由は、物理的に自由になる時間がないからではなく、自己が認められずに自信を失い、精神的に安心できない状況にあるからなんだね。」

問五 次の文章とグラフは、中学生のAさんが、総合的な学習の時間に調査した内容をもとに、保護者や地域の方も招いて発表するために作成した原稿とそのときに使うグラフである。これらについて、あとの(ア)～(ウ)の問いに答えなさい。

先日、祖母が、家のペットに子犬を買ってきました。私と祖母はとても話が合い、休みの日には一緒に散歩に出かけたりしますが、私が学校にいる間の「話し相手」として子犬の購入を決めたと申していました。

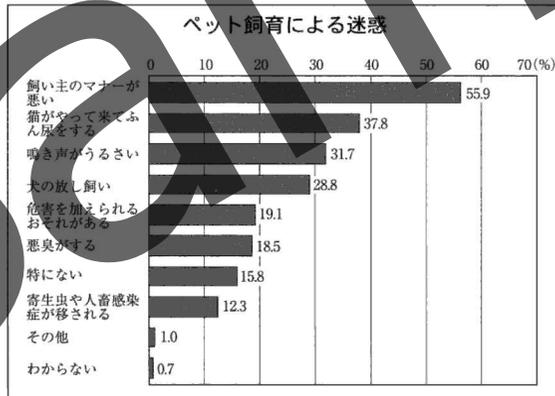
そこで、私は、ペットの飼育について調べてみました。その中でも、ペットを飼育する理由と飼育することで生じる迷惑の二点について興味を持ちました。これから、その調査結果をみなさんに報告いたします。ペットを飼育している人の割合を世代別に見ると、五〇代と六〇代が最も多く、二〇代のほぼ二倍になっているだけでなく、七〇代以上の割合も、二〇代や三〇代より高くなっていることがわかりました。また、精神的な安らぎを求めてペットが飼われている一方で、飼う側のマナーが問題視されているという実態が、グラフから読み取つていただけると思います。

最近では、ペットを話題にしたテレビ番組が放送されるほど、ペット人気は高いと言えますが、先日、私がスーパーに買い物に出かけた際に、駐車場で犬を連れた女性を見かけました。その犬は、非常にかわいがられているようで、人なつこそうに他の買い物客に近寄っていました。中には、迷惑そうな顔で店内に逃げるように入つて行く買い物客もいました。これは、犬好きの私も、ペットの飼育について考えさせられる体験となりました。

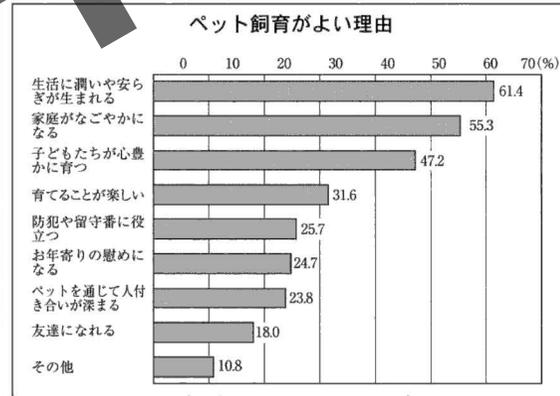
世の中では、高齢化社会を迎えて、一人暮らしのお年寄りの方が増えているという問題が生じていることを、社会科の時間に先生からお聞きになりました。このことは、ペットを飼育している割合が、若い世代よりも高齢者の世代の方が多いということと深く関係しているのではないのでしょうか。つまり、ペットを飼育しているお年寄りの方は、たとえて言うなら、自分の子どもと変わらない本当の家族のつもりでペットと接しているのだと思います。

ペット飼育の問題は、飼育する側が他人に配慮をするだけで解決できるものではないと思います。私たちそれぞれがお互いの気持ちを理解することが大切であるばかりでなく、人と人のつながりにについても、さらに大切にしていく必要があると思います。

グラフ2



グラフ1



内閣府平成22年「動物愛護に関する世論調査」より作成。

- (ア) 〰〰線1～4の中から、敬語の使い方が適切でないものを一つ選び、その番号を書きなさい。
- (イ) 線部「たとえて言うなら、自分の子どもと変わらない本当の家族のつもりでペットと接しているのだと思います。」とあるが、それを同じ意味になるよう次のように原稿を書き直したとき、Aに入れる語として最も適するものをそれぞれひらがな三字で書きなさい。

A、自分の子どもと変わらない本当の家族の B ペットと接しているのだと思います。

- (ウ) あるクラスの学級活動の中で、Aさんの発表の内容やグラフについて、生徒たちが話し合いを行った。次の1～4は、そのときに出された意見の一部である。発表の内容やグラフから読み取れる内容として適切でないものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 「六割以上の人が、『生活に潤いや安らぎが生まれる』という理由でペット飼育がよいと考えているので、ペットは人々と密着した存在と言えます。でも、『友達になれる』と考える人が約二割いることを考えると、人間同士のつながりが希薄になってきているともとらえられると思います。」
- 2 「ペット飼育は、僕たちに身近な日常生活の中にあるばかりでなく、実情としてはもっと大きな問題であると思います。だから、ペットを飼育する人や、ペットの飼育は迷惑だと感じている人だけではなく、皆が、社会の問題の一つとして自分ができることを考えるべきだと思います。」
- 3 「ペット飼育による迷惑の内容の上位三つは、汚物問題や鳴き声の問題、放し飼いに対する不快感で、いずれも30%を超えています。このことは、ペットを飼育する人の気持ちを理解しようとしないう人や、ペットに対する愛着の少ない人の考え方の大きな特徴であると言えます。」
- 4 「ペット飼育がよい理由で『お年寄りの慰めになる』という回答が約25%あるのは、一人暮らしのお年寄りの方が増えているという社会の現実と、無関係ではないと思います。でも、高齢化社会の中で、お年寄りの方への精神的な支援は、今後私たちが担うべき重要な課題だと思います。」

(問題は、これで終わりです。)

第1回

短期合格力完成テスト

(神奈川県公立版 全5回)

数 学

注 意 事 項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は問7まであり、1ページから6ページに印刷されています。
- 3 計算は、あいているところを使い、答えは、解答用紙の決められた欄に書き入れなさい。
- 4 答えに根号がふくまれるときは、根号の中は最も小さい自然数にきなさい。また、分母に根号がふくまれるときは、分母に根号をふくまない形にしておきなさい。
- 5 答えが分数になるとき、約分できる場合は約分しておきなさい。
- 6 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。

所要時間50分

問1 次の計算をなさい。

(ア) $5 - (-8)$

(イ) $\frac{4}{7} - \frac{2}{3}$

(ウ) $18a^2b \div 3ab$

(エ) $\frac{8}{\sqrt{2}} + \sqrt{18}$

問2 次の問いに答えなさい。

(ア) $(x-3)^2 - (x-2)(x+4)$ を計算しなさい。

(イ) $(x-2)(x+6) - 9$ を因数分解しなさい。

(ウ) 2次方程式 $x^2 - 8x + 9 = 0$ を解きなさい。

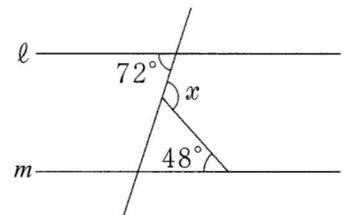
(エ) $x = \sqrt{3} + 1$, $y = \sqrt{3} - 1$ のとき, $x^2 - y^2$ の値を求めなさい。

(オ) 関数 $y = ax^2$ において, x の値が -3 から -1 まで増加するときの変化の割合が 8 であった。このとき, a の値を求めなさい。

(カ) ある沼で, 100匹の鯉を捕まえ, 印をつけてこの沼に放しました。1週間後に再び, この沼で150匹の鯉をつかまえたところ, 印のついている鯉が30匹いました。この沼にはおよそ何匹の鯉がいると考えられるか求めなさい。

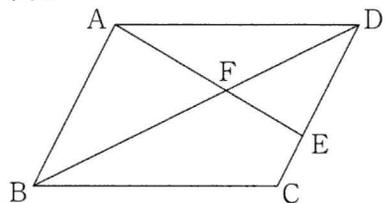
(キ) 右の図1において, 2直線 l , m は平行である。このとき, $\angle x$ の大きさを求めなさい。

図1

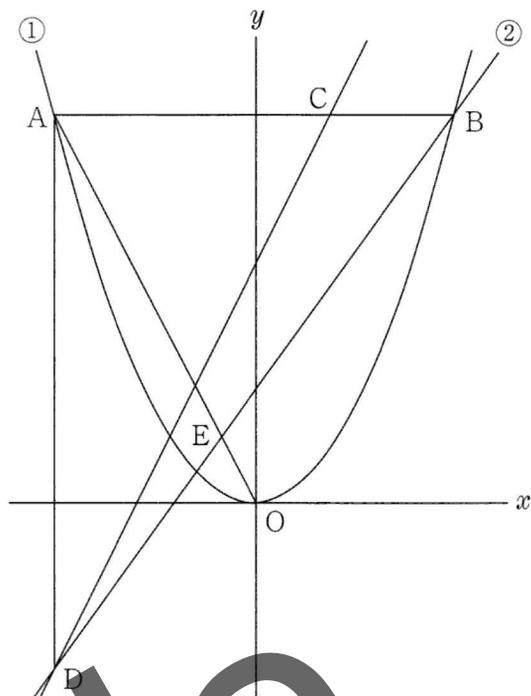


(ク) 右の図2のように, 面積が 60cm^2 の平行四辺形 ABCD があり, 辺 CD 上に $CE : ED = 1 : 2$ となる点 E をとる。線分 AE と線分 BD の交点を F とするとき, 三角形 DFE の面積を求めなさい。

図2



問3 右の図において、曲線①は関数 $y = ax^2$ のグラフであり、直線②は関数 $y = x + 3$ のグラフである。点A、点Bは曲線①上の点で、点Aの x 座標は -6 であり、線分ABは x 軸に平行である。点Cは、線分AB上の点で $AC : CB = 2 : 1$ である。点Dは直線②上の点で、線分ADは y 軸に平行である。線分OAと直線②の交点をE、原点をOとすると、次の問いに答えなさい。

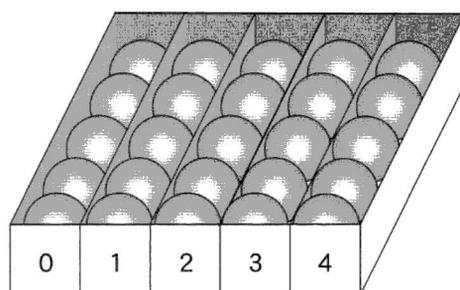


- (ア) 曲線①の式 $y = ax^2$ の a の値を求めなさい。
- (イ) 直線CDの式を求め、 $y = mx + n$ の形で書きなさい。
- (ウ) y 軸上の正の範囲に点Pをとる。このとき、三角形BCDの面積と三角形BPDの面積が等しくなる点Pの座標を求めなさい。

Sample

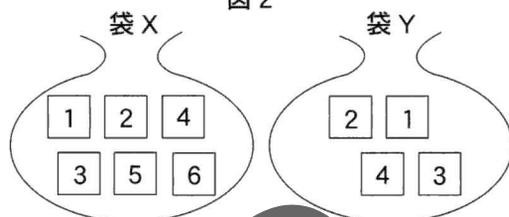
問4 右の図1のように、0, 1, 2, 3, 4の数字が1つずつ書かれた5個の箱が左から数字の小さい順に横一列に並べて置いてあり、その中に同じ大きさの玉が5個ずつ入っている。

図1



また、右の図2のように、1から6までの数字が1つずつ書かれた6枚のカードが入っている袋Xと1から4までの数字が1つずつ書かれた4枚のカードが入っている袋Yがある。

図2



2つの袋X, Yの中からカードをそれぞれ1枚ずつ取り出し、それらのカードに書かれた数字によって、次の①, ②の操作を順に行うこととする。

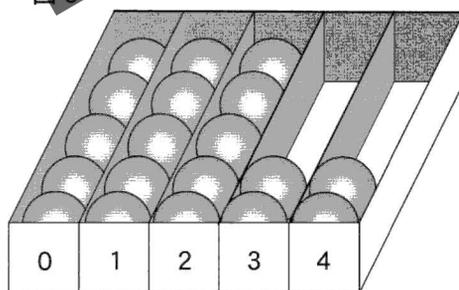
- ① 袋Xから取り出したカードに書かれた数と、袋Yから取り出したカードに書かれた数との積を5で割ったときの商とあまりを求める。
- ② ①の操作で求めた商と同じ数字の書かれた箱とその箱の右側にあるすべての箱の中からあまりの数と同じ個数の玉を取り出す。ただし、あまりが0であった場合には、それぞれの箱から5個の玉を取り出すものとする。

【例】

袋Xから取り出したカードに書かれた数字が6, 袋Yから取り出したカードに書かれた数字が3のとき、

- ① 袋Xから取り出したカードに書かれた数と、袋Yから取り出したカードに書かれた数との積は、 $6 \times 3 = 18$ となり、これを5で割ったときの商は3で、あまりは3になる。
- ② 数字の3が書かれた箱と、それより右側にある数字の4が書かれた箱の中から、あまりの数である3個ずつの玉を取り出す。
この結果、右の図3のようになる。

図3



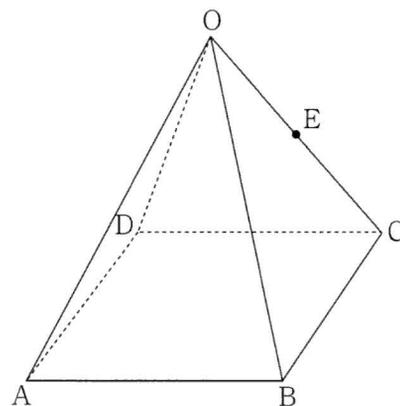
いま、図1のように、箱の中には玉が5個ずつ入っている状態で、図2の袋X, Yの中からカードをそれぞれ1枚ずつ取り出すとき、次の問いに答えなさい。ただし、それぞれの袋の中から、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとする。

- (ア) 袋Xから取り出したカードに書かれた数字が2, 袋Yから取り出したカードに書かれた数字が4のとき、箱から取り出される玉の個数を求めなさい。
- (イ) 数字の3の箱に玉が入っていない確率を求めなさい。
- (ウ) 5個の箱の中に入っている玉の個数の和が10個以下となる確率を求めなさい。

問5 たろうさんが、ふもとから山頂をめざして、午前10時30分にふもとのA地を出発した。のぼりは12分間ずつの休憩を4回とって、山頂に着いた。山頂では昼食時間を1時間とり、下りのはのぼりとは別のルートを通り、6分間ずつの休憩を2回とって、ふもとのA地に午後2時6分に戻った。たろうさんの歩いた道のりは4000mで、たろうさんの歩く速さのはのぼりが分速30m、下りが分速50mである。このとき、たろうさんが歩いたA地から山頂までののぼりの道のりと山頂からA地までの下りの道のりをそれぞれ求めなさい。ただし、A地から山頂までののぼりの道のりを x m、山頂からA地までの下りの道のりを y mとして、方程式をつくり、答えを導くまでの途中経過も書きなさい。

Sample

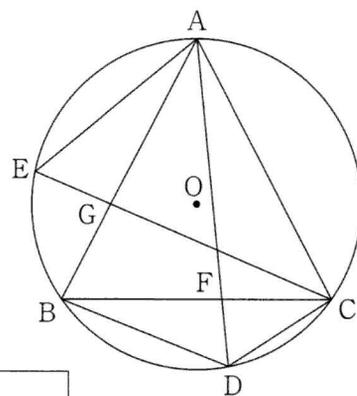
問6 右の図は、正方形 ABCD を底面とし、点 O を頂点とする正四角すいである。点 E は辺 OC の中点であり、 $AB = 4\text{cm}$ 、 $OC = 6\text{cm}$ である。次の問いに答えなさい。



- (ア) この正四角すいの高さを求めなさい。
- (イ) この正四角すいの体積を求めなさい。
- (ウ) この正四角すいにおいて、2点 A、E 間の距離を求めなさい。

Sample

問7 右の図のように、円Oの周上に3点A, B, Cを $AB = AC$, $AB > BC$ となるようにとる。また、点Aを含まない \widehat{BC} 上に点Dをとる。さらに、点Cを含まない \widehat{AB} 上に $DB \parallel CE$ となる点Eをとる。線分ADと線分BCとの交点をF、線分CEと線分ABとの交点をGとする。このとき、三角形AEGと三角形BDFが相似であることを証明しなさい。



〔証明〕

$\triangle AEG$ と $\triangle BDF$ において、



(問題は、これで終わりです。)

生徒番号					氏名(漢字)				

問1

(ア)		(イ)		(ウ)		(エ)	
	1		2		3		4

各3点×4=12点

問2

(ア)		(イ)		(ウ)	$x =$		7
			5		6		
(エ)		(オ)	$a =$	(カ)	およそ		匹
			8		9		10
(キ)	$\angle x =$		度	(ク)			cm^2
			11				12

各4点×8=32点

問3

(ア)	$a =$	(イ)	$y =$	(ウ)	$P($,)
							15

各4点×3=12点

問4

(ア)		個	(イ)		(ウ)		18
			16				17

各4点×3=12点

問5

[答] A地から山頂までののぼりの道のり m,
山頂からA地までの下りの道のり m

19 10点

問6

(ア)		cm	(イ)		cm^3	(ウ)		cm
			20				21	22

各4点×3=12点

問7

[証明]

23 10点